学校番号	T1206

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史科	科目	歴史総合	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「歴史総合 新訂版」　（実教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歴史総合とは、18 世紀以降の世界と日本の近現代史の基本的なことを学習する科目です。歴史といえば、その時代で世界・日本では何が起こっていたかといったことを覚えていく教科だと思うかもしれませんが、この授業について、「オスマン帝国、エジプト、清の近代化への動きと、幕末にはじまる日本の近代化への動きを比較する」や「身分制の廃止は、フランスと日本ですすんでいったか比較する」など、常に世界と日本を比較し、「なぜ」という視線で授業を行い、生徒の皆さん自身で調べたことなどを発表する形式で授業を行います。
・授業で Chromebook を使用することもあります。
・皆さんが授業に積極的に参加することを期待しています。

2　学習の到達目標

社会的な見方・考え方を働かせ，課題を追究したり解決したりする活動を通して，広い視野に立ち，グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1) 中学校で学習してきたことの知識等を再確認しながら、高校で学習する内容を身につける。
(2) 日本や世界の情勢や動向を「なぜ」そのようになったかを、歴史的背景等を含めて考え、自身で判断することができる。
(3) 日本や世界の歴史に関する様々な情報を、史料を調べて自身の力でまとめ、論述・討論ができる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに，調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるように する。	歴史に関わる事象の意味や意義，特色や相互の関連を，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり， 社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。	歴史に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の国土や歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期(4月～5月中旬)	歴史の扉	・歴史と私たち ・歴史の特質と資料	a：私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に、それらが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解している。 b：近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化と、日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し、表現している。 c：中学校社会科における学習の成果を生かし、学ぶ意義や目的、歴史的な考察の方法やその特質について、主体的に理解を深めようとしている。	・考査点	・考査点 ・学習プリント ・授業中の発表	・学習プリント等
	近代化への始動	・17 世紀以前のアジアの繁栄とヨーロッパの海外進出 ・江戸時代の日本と東アジア秩序の変動 ・近世の琉球と蝦夷地 ・幕政の政治改革と欧米諸国の日本接近 ・アジアの繁栄とヨーロッパ社会の変化	a：江戸時代の日本にどのような身分があり、どのような問題があったか理解し、西洋の近代的国際関係と清の冊封体制との違いを説明することができる。 b：冊封体制が東アジアに果たした役割、清の海禁政策と日本の鎖国との関係について、日本・清・朝鮮それぞれの場合に分けて、共通点や相違点をふまえながら多面的・多角的に考察することができる。 c：江戸時代の国際交流について主体的に追究して、「鎖国」で国際関係を絶っていたとするかつての見方や日本が単一民族で単一的な発展を遂げたという見方を打破しようとする学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。			

前期(5月下旬~7月上旬)	欧米の市民革命と「西洋の衝撃」	・ヨーロッパの主権国家体制の成立 ・イギリス産業革命とアメリカ独立戦争 ・フランス革命とウィーン体制 ・アメリカ合衆国の発展とラテンアメリカの独立 ・世界市場の形成 ・オスマン帝国の衰退とロシア ・イスラーム世界の拡大 ・アヘン戦争の衝撃と日本の開国 ・江戸幕府の滅亡	a：18 世紀とその前後のヨーロッパやアメリカ大陸、オスマン帝国における政治、各地域間や清や日本などアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に、経済と社会を理解している。 b：18 世紀とその前後のヨーロッパやアメリカ大陸、オスマン帝国でのできごとや影響などに着目して、世界各地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、ヨーロッパやアメリカ大陸、東アジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現している。 c：18 世紀とその前後のヨーロッパやアメリカ大陸とアジアとの歴史の変化に関わる諸事象について、課題を主体的に追求して、学習上の課題を解決しようとしている。	・考査点	・考査点 ・学習プリント ・授業中の発表	・学習プリント等

	欧米諸国と日本の国民国家形成	・イギリス、フランスの繁栄とイタリア、ドイツの統一 ・明治政府の諸改革 ・文明開化 ・日本のアジア外交と国境問題 ・自由民権運動と大日本帝国憲法	a：19 世紀後半のヨーロッパや日本における政治、ヨーロッパ各地域間や日本と欧米諸国の関係などを基に、ヨーロッパと日本の政治と社会を理解している。 b：19 世紀後半の欧米諸国が日本に与えた影響などに着目して、ヨーロッパ諸国とその他の地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、ヨーロッパにおける政治活動の特徴、ヨーロッパ各地域間の関係、日本と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現している。 c：19 世紀後半のヨーロッパの動きと日本との関連に関わる諸事象について、課題を主体的に追求して、学習上の課題を解決しようとしている。			
前期(8月下旬～10月上旬)	帝国主義の時代	・近代化する日本をおとずれた外国人 ・帝国主義の時代へ ・朝鮮をめぐる国際関係と日清戦争 ・日清戦争後の東アジア ・日露戦争と東アジアの変動 ・日本の産業革命 ・産業革命の光と影	a:19 世紀から 20 世紀初頭にかけてのアジアや日本における生産と流通、アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に、アジアの経済と社会を理解している。 b：19 世紀から 20 世紀初頭にかけての欧米諸国の帝国主義が世界に与えた影響などに着目して、ヨーロッパ諸国とその他の地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、日本における政治の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現している。 c：帝国主義や日本のアジア進出に関わる諸事象について、課題を主体的に追求して、学習上の課題を解決しようとしている。	・考査点	・考査点 ・学習プリント ・授業中の発表	・学習プリント

	第一次世界大戦と大衆社会	・第一次世界大戦 ・ロシア革命とソ連の成立 ・米騒動とデモクラシー ・ヴェルサイユ体制とワシントン体制 ・アジアの民族運動 ・第一次世界大戦後の欧米諸国 ・ひろがる社会運動と普通選挙の実現 ・1920 年代に花ひらいた大衆の文化	a：第一次世界大戦の展開、日本やアジアの経済成長、ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭、ナショナリズムの動向と国際連盟の成立、大衆の政治参加と女性の地位向上、大正デモクラシーと政党政治などを基に、総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制、大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解している。 b：第一世界大戦の推移と第一次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、日本の参戦の背景と影響、第一次世界大戦前後の社会の変化などに着目して、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、関連付けたりするなどして、第一次世界大戦の性格と惨禍、第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動との関連などを多面的・多角的に考察し、表現している。 c：20 世紀初頭から戦間期にかけての日本を中心に世界的な動きと関わる諸事象について、課題を主体的に追求して、学習上の課題を解決しようとしている。			

後期（10月中旬～12月中旬）	経済危機と第二次世界大戦	・世界恐慌と各国の対応 ・ファシズムの時代 ・満州事変と軍部の台頭 ・日中戦争と戦時体制 ・第二次世界大戦の勃発 ・第二次世界大戦の終結 ・沖縄と戦争 ・国際連合の成立と冷戦 ・日本占領と日本国憲法 ・日本国憲法の誕生 ・朝鮮戦争と日本	a：世界恐慌、ファシズムの伸張、日本の対外政策、第二次世界大戦の展開、戦後改革と日本国憲法の制定などを基に、第二次世界大戦前後の国際秩序と日本の国際社会への関係を理解している。 b：第二次世界大戦の推移と影響、第二次世界大戦後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響などに着目して、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、第二次世界大戦の性格と惨禍、人々の生活、日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し、表現している。 c：世界恐慌やナチス・ドイツ誕生の頃から第二次世界大戦後の日本の独立回復までの日本と世界の歴史の変化に関わる諸事象について、課題を主体的に追求して、学習上の課題を解決しようとしている。	・考査点	・考査点 ・学習プリント ・授業中の発表	・学習プリント

	冷戦と脱植民地化	・植民地の独立 ・核実験と核競争 ・米ソ両陣営の動揺 ・高度経済成長 ・日本の国際復帰と高度経済成長	a：植民地化とアジア・アフリカ諸国、冷戦下の地域紛争、先進国の政治の動向、軍備拡張や核兵器の管理、西ヨーロッパや東南アジアの地域連携、計画経済とその波及、日本の高度経済成長などを基に、国際政治の変容や世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会を理解している。 b：地域紛争の背景や影響、冷戦が各国の政治に及ぼした影響、冷戦が各国経済に及ぼした影響、地域連携の背景と影響、日本の高度経済成長の背景と影響などに着目して、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、地域紛争と冷戦の関係、第三世界の国々の経済政策の特徴、欧米やソヴィエト連邦の政策転換の要因、冷戦下の世界経済や地域連携の特徴、経済成長による生活や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。 c:1950 年代の冷戦期から 1970 年代の石油危機で日本の高度経済成長期がおわるころの日本を中心に世界的な動きと関わる諸事象について、課題を主体的に追求して、学習上の課題を解決しようとしている。			

後期（1月～2月）	多極化する世界	・石油危機と世界経済 ・パレスティナ問題の変遷 ・緊張緩和から冷戦の終息へ ・日本の経済大国化	a：石油危機、アジアの諸地域の経済発展、市場開放と経済の自由化、情報通信技術の発展、冷戦の終結、民主化の進展、地域統合の拡大と変容、地域紛争の拡散とそれへの対応などを基に、市場経済の変容と課題、冷戦終結後の国際政治の変容と課題を理解している。 b：アジアの諸地域の経済発展の背景、経済の自由化と技術革新の影響、資源・エネルギーと地球環境問題が世界経済に及ぼした影響、冷戦の変容と終結の背景、民主化や地域統合の背景と影響、地域紛争の拡散の背景と影響などに着目して、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、市場経済のグローバル化の特徴や冷戦終結後の国際政治の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現している。 c：1970 年代に入り石油危機などが起きたころから 21 世紀の現代までの日本と世界の歴史の変化に関わる諸事象について、課題を主体的に追求して、学習上の課題を解決しようとしている。	・考査点	・考査点 ・学習プリント ・授業中の発表	・学習プリント

	グローバル化と現代世界	・地域紛争と対立 ・国際秩序の変容 ・グローバル化のなかの日本	a：歴史的経緯を踏まえて、現代的な諸課題を理解している。 b：事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、日本とその他の国や地域の動向を比較し相互に関連付けたり、現代的な諸課題を展望したりするなどして、主題について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 c：21 世紀に入って日本と世界の歴史の変化に関わる諸事象について、課題を主体的に追求して、学習上の課題を解決しようとしている。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度